

第7回山県市まち・ひと・しごと創生会議 会議録（要点筆記）

- 【日時】 平成29年6月19日（月）9:30～11:15
- 【場所】 山県市役所3階大会議室
- 【出席】 会長 竹内治彦 岐阜経済大学 教授
委員 田上 隆 （代理出席）大野朝義 市自治会連合会代表
宇野 睦 市商工会 会長
佐伯岳人 JA岐阜 高富支店長
早川 徹 （株）水生活製作所 代表取締役社長
矢野博司 （代理出席）丹所充也 市校長会代表
近藤貴紀 十六銀行高富支店長
小島 明 大垣共立銀行高富支店長
浅井一智 岐阜信用金庫高富支店長
高原達夫 岐阜公共職業安定所 雇用開発部長
木村麻理 社会保険労務士
松田尚康 岐阜新聞社 本巢支局長
鳥居彩子 中日新聞社 記者
浅野修司 岐北厚生病院 事務局長
丹羽英之 市社会福祉協議会 会長
武藤行儀 （代理出席）清水達郎 岐阜乗合自動車 取締役
宇野邦朗 副市長
- 事務局
- 久保田裕司 企画財政課長
谷村政彦 企画財政課主幹
岡田陽樹 企画財政課係長
- 【欠席】 副会長 黒見敏丈 岐阜女子大学 教授
委員 今瀬義幸 元岐阜県職員
- 【次第】 1. 会長あいさつ
2. 議事
(1) 地方創生加速化交付金事業の評価・検証について
(2) 山県市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
3. その他
- 【資料】 資料1 レジюме
資料2-1 地方創生加速化交付金事業の評価・検証について
(空家トリアージ発展加速化事業)

- 資料2-2 地方創生加速化交付金事業の評価・検証について
(観光フロンティア市場化事業)
- 資料3 地方創生加速化交付金事業関係資料
- 資料4 山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂案)
- 資料5 山口市の地方創生交付金関係事業の概要
- 資料6 第6回まち・ひと・しごと創生会議の意見等について
- 資料7 地方創生拠点整備交付金整備対象施設の施設整備計画
- 資料8 平成29年度 地方創生推進交付金(第1回)新規事業様式
- 資料9 RESAS(地域経済分析システム)活用勉強会を実施

■ 事務連絡

委員の交代、代理出席、欠席委員について報告

■ 会長あいさつ

■ 事務局 要綱第7条第1項の規定により、会長に議長を依頼する。

【議事】

会 長 議案について、事務局に説明を求める。

事務局

山口市の総合戦略の全体概要について説明

国の支援について説明

- ・財政支援 地方創生関係各種交付金(資料5)
- ・人的支援 地方創生監 国土交通省から派遣
- ・情報支援 RESAS(地域経済分析システム)客観的データから政策立案を
職員研修を実施した(資料9)

人的支援で、国土交通省から地方創生監として、H29年度から2年間派遣で来て頂いています。

---地方創生監 自己紹介---

事務局

加速化交付金事業 4,000万円×2事業の説明 (資料2-1、資料2-2、資料3)

- 会長 意見があれば、お願いします。
空家トリアージ事業は定住人口、観光フロンティアが交流人口だと思うが、数値的には空家トリアージ事業は、目標値以上に上がっている、観光は「やや」という感じがします。
- A委員 資料にもあるように、新聞に取り上げられる回数が増えているようです。頑張っている感じがして良いと思います。
体験ツアーの説明があり、企業見学もしていただいたようですが、我々にも委託業者さんから問合せがありました。内容（いつ、どこで、予定人数等）について確認の依頼をしたところ、返事がないまま事業実施されました。請け負われた業者さんは、市役所の意向は確認されますが、市民向きの意識が薄い気がした。残念な感じもあった。苦言を呈しておきます。
- B委員 2家族が移住されたと説明されたが、決め手は何だったのか教えて欲しい。
- まちづく 1人は就労体験を通じて、移住に至ったものです。空家バンクの物件を賃貸
り・企業支援 借りでもらいました。ボラサポの案内が細部にわたり丁寧だったこともあり、移住に至ったと考えます。1人は、体験ツアーからで、就農希望の若い
課長 女性で、農地の近くの空家を希望していらっしやいました。最終的には地域おこし協力隊として来て頂くこととなりました。本市の空家の賃貸は、都市部に比べると、家賃が低廉で借りることができ、生活費も低く抑えることができます。
- 会長 空家トリアージはいい感じで、シティープロモーションについても色々取り上げられているようです。観光地作りについてはどうかというと、先日、伊自良湖へ行きましたが、ちょっと中途半端で、集客にはきつい感じがしました。恋人の聖地についても、藤橋付近のは、写真映えもするが、伊自良湖ではどうかな？絵馬の数も比較にならない。あれ（恋人の聖地のモニュメント）があるだけで写真を撮るかといえば、そうは思えない。例えば、岐阜大学は伊自良湖から近く、車で30分程度の場所だが、学生さんが来て遊ぶか？というと、そうは思えない。
どういうお金の使い方をするか？DMOということなら、お金を使ってもらわなくてはいけないが、あそこ（伊自良湖）はお金を使う要素が全くない。何をどう育てていくか見えてこない。
説明だと、ゼロベースから探っているようだが、観光ツアーにしても、山県市が持っているシーズ（種）がどこにあるのか？成功しているものがどこなのか見極めの基に始めていいのではないか。いくら何でもゼロからの掘り起こしは難しいと思う。一昨年、栗まつりに訪れたが、栗まつりは大人気で多勢の人がどこからか集まってくる。そういった行事はあるのだから「利用できない」か、「回数を増やせないか」などの発展を模索した方が良いのではないか。
- C委員 栗まつりは、確かに人が集まってくる。商工会、その他団体が一斉に協力し

て実施し、PRしている。そういった仕掛けが大切だと思う。イベント案内は早めに知らせて、みんなでPRしていくと第2の栗まつり化も可能かもしれないと感じました。

○会長 体験型の観光がいいと思う。風景だけでは来てもらえない。農業関係でもいから体験型の方が良いと思う。大垣では「元気はつらつ市」毎月第1日曜日が定着し、特筆するものは何も無いが、人気がある。子どもが遊べる遊具的なものがある。

子どもが来てくれるものを用意し、家族が来てくれて、時間を費やし、若干のお金を使ってくれる。そういったものが成功事例としての定番ではないか。空家の件について、女子大生の感性を取り入れたところはいいと思う。差別化できていると思う。

事務局 市が元気になるには、企業が元気でなければならないと思っている。近年、認知度が向上したことも影響してか、市職員募集に対する応募が増え、資質も高い気がします。企業にも何らかの影響はありますか？

職員確保に苦労していると伺っていますが。

○D委員 商工会とダブった事業を実施している。商工会では、高校向けに企業PRしている。就職支援は、市の事業とは別でそれぞれで実施している。協力隊は3年5年？仕事が無いので地元就職してくれた。

事務局 事業に重複があることは認識しています。

商工会をサポートする側にまわりたいと思っている。協力隊は6割程度が根付いていると報道されているが、実質は自治体の支援を継続的に仰いでいる場合が多いようです。山県市は8人中6人が、市の支援が無くても残っているレアケースです。

○E委員 山県市がメディアに取り上げられるのは、うれしいものです。朝礼で山県市の良さをPRするように伝えている。岐阜市に住む職員が多い。前回の会議の資料で、空家のWEBページを改善したとあるが、そういった情報を商工会を通じてでも結構ですので発信して欲しい。もう一步踏み込んだアクションを期待します。いろんな事業を実施されていますが、いまいち情報が伝わってこない。地元企業等にも事業内容を発信してもらえると、もっとよかったですと感じます。

○会長 資料6、資料7、資料8については、説明がありますか。

事務局 資料6については、平成28年度の創生会議において出された意見について、改善策等についてまとめた資料で、内容を抜粋して説明。

資料7 地方創生拠点整備交付金事業（伊自良湖周辺整備事業約1億2千万）の内容（伊自良湖荘改修、屋外トイレの改築、遊歩道の整備、サイン関係整備）を説明

資料8 地方創生推進交付金事業（空家活用、広報、観光等）7,300万円について説明

○会長 資料7、資料8については、平成29年度事業として進んでいるものですか？

事務局 業者選定を行ったところです。

○F委員 DMO法人化をどの程度進めていくのか。観光プロモーション・シティープロモーションについての検証をここでするとのことですが、メディアを呼ぶには経費がかかると思います。昨年度は、地方創生関係の経費をかけたことで、多くのメディア露出があったようですが、行政側にこういった認識はありますか。今後、予算を確保できなくなったらシティープロモーションはやめていくのか、それとも、継続策があるのか。メディア側の意見も聞きたい。

事務局 DMOについては、メリットが見いだせていない。模索したのが昨年の事業です。メディア露出については、パブリシティ（お金をかける広告ではなく記事として取り上げてもらう広報）と考えます。種をまくことに努力しています。

○G委員 シティープロモーションについて、新聞に取り上げられたことが成果のように説明されましたが、それは成果と言えません。さらにどんな効果が得られたかを検証する必要があります。新聞は中高年の目に付くが皆さんは見ないSNSに拾ってもらうのが大切、YamagataBaseも最近は更新されていない。ターゲットごとにメディアを使っていくことを検討すべきだと思います。

○H委員 資料7（伊自良湖周辺整備事業）に、トイレ改修があるが、水回りには、地元産材料を活用して欲しい。

○会長 先日使用した伊自良湖のトイレはスリリングだった。

DMOについて、お金を使ってもらうには土産物を考える必要がある。

若者には、インスタ映えするものを用意する。

○I委員 香りの森公園は観光地化を目指すのか？市民の憩いの場で観光地ではないと思う。

○会長 伊自良湖は名古屋圏をターゲットにしているのですか、観光地は、それぞれターゲットがあると思われるので、それを意識するべきだ。

東海環状自動車道の開通を見込んで何か施策があるのか。

事務局 もちろん、そこに着目しています。開通してからでは遅いので、今から実施していこうとしています。

地方創生監 来て間もないですが、東海環状ができれば名古屋圏は近くなり、交流人口の増加が見込めます。来てもらっても興ざめするようでは二度と来てもらえないので、開通までの3年間で、自然を活かした地域資源をどのように磨くか、

ストーリー性を持たせるのかを考えていきます。香り会館を観光地としていくのは違和感があるが、庭園の無い近郊の住宅地の住民の憩いの場として訪れてもらうなど、ターゲットごとのPRが必要だと考えます。

- J委員 行政単独で頑張るのみならず、各種団体が協力して行っていくとよりよいものになると思う。
- K委員 観光は手詰まり感があるよう、広域での観光、歴史の掘り起こしなども考え、周りの歴史観光に助けてもらうような施策を考えてはどうか。
中学校で職業講話を検討している。生徒に「地元で働きたいか。」を尋ねたところ、「働きたい。」と答えた生徒が20%以下でした。「働くところが無い。」との意見が多い。移住に力を入れるのもいいが、子どものうちから市の魅力を伝え、郷土愛を醸成することで、流出人数を減少させることも可能ではないでしょうか。
美山の川は人気、コテージの予約が多い
- 会長 食、について、みやげものを作っている人に来てもらうのも良いのでは、検討してみてください。
- 事務局 推進交付金で歴史をテーマにしたものを検討します。近隣との連携は進めていきます。
- 会長 次の議案、「総合戦略の改訂」についてお願いします。
- 事務局 改訂（案）の内容を説明
- 会長 特に意見は無いと思います。
全体をとおして何かありますか。
- L委員 人材育成に関する施策はありますか。
Uターンに関する施策はありますか。
- 事務局 看護師育成の制度はありませんが、福祉関係の資格取得に関する助成制度、母子家庭、大学利子補給などがあります。その他の施策に関しては、有効性などを考慮しながら検討していきます。
- 会長 人口の話なので、動態に関する資料とかがありましたら説明できますか。
- 事務局 会議録（要点筆記）とともに参考資料を送ります。
- 会長 以上で会議を終了します。

――― その他の連絡等 閉会 11:15 ―――